

農作業コツのコツ

【第7号】

令和4年6月4日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

とみちから・五百万石

中干しを行っていないほ場は早急に実施しましょう。

中生・晩生・直播

浅水管理や軽い田干しで稲体を健全化し、溝切りを行いましょう。

【水稻の生育状況】

水稻の生育は、田植え後の好天と浅水管理の徹底により全般的に茎数が多くなっています。また、とみちからは平年より3日程度早くなっています。今後は、梅雨入り前に品種に応じた適切な水管理（**浅水**、**中干し**）で稲体の健全化を図りましょう。

水稻・移植

生育状況

(5月31日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色		
	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	
とみちから	5/ 2	5/ 3	28.2	30.2	15.2	11.0	7.7	7.0	4.5	4.3	
五百万石	5/ 2	5/ 3	26.7	25.2	10.3	9.2	7.7	7.5	4.4	4.5	
てんたかく81	5/3	—	26.5	—	10.5	—	6.7	—	4.1	—	
コシヒカリ	5/14	5/13	26.8	26.6	7.3	6.5	5.3	5.5	4.2	4.1	
てんこもり	5/11	5/ 8	22.5	23.8	9.8	8.6	6.3	6.4	4.5	4.3	
密苗	てんたかく81	5/ 2	—	22.6	—	12.1	—	6.7	—	4.2	—
	コシヒカリ	5/14	5/15	25.3	21.9	4.9	5.1	4.9	5.2	4.0	4.1
	てんこもり	5/ 7	5/10	20.4	20.9	11.4	8.4	6.0	5.4	4.4	4.3

(調査筆数:とみちから2筆、五百万石2筆、てんたかく81 1筆、コシヒカリ3筆、てんこもり2筆、密苗てんたかく3筆、密苗コシヒカリ3筆、密苗てんこもり2筆)

1 とみちから、五百万石

(1) まだ**中干し**を始めていない場合は、早急に行いましょう。

中干しの徹底で倒伏を防ぎましょう。

中干しが遅れると・・・

- ・根の活力が低下し、直下根が発達せず、稲体が大きくなならない
- ・無効分げつの発生が多くなる ⇒ 収量・品質の低下
- ・梅雨時期と重なり、中干し程度が不十分となる ⇒ 刈取作業に支障

(2) 中干しは、短期間に強く干しすぎると稲の生育に影響します。

数回に分けて徐々に干しあげていきましょう。

(3) 中干し後は**間断かん水**を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度となるように田面を硬めましょう。

(4) **溝の手直し**を行い、成熟期まで入水・排水が円滑に行えるようにしましょう。



中干し終了時の目安
ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度(足跡深さ10cm程度)

2 てんたかく81

(1) 中干しは6月7日頃から開始しましょう。

3 コシヒカリ、てんこもり

(1) 中干し開始まで、**浅水管理 (3cm)** で分げつの発生を促しましょう。

(2) 藻やワキの発生が見られたら、**田干し**や**水の入れ換え**を行い、稲体の健全化を図りましょう。

(3) 中干しの効果を高め、入水・落水を速やかにするため、必ず**溝切り**をしましょう。

(4) **田植え1か月後までに中干しを開始**しましょう。

水稻・直播

生育状況

(5月27日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		播種日		草丈 (cm)		m当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
		R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年
カルパー	コシヒカリ	5/2	4/30	12.2	22.1	21.0	33.4	3.9	3.6	4.0	4.1
鉄コ	コシヒカリ	5/2	4/30	15.4	14.1	22.5	23.8	2.9	3.6	4.1	4.1
	てんこもり	4/27	4/30	10.4	12.4	23.8	24.1	3.6	4.0	4.1	4.1

(調査筆数：カルパー コシヒカリ2筆、鉄コ コシヒカリ2筆 てんこもり2筆)

- ・浅水管理を徹底し、分けつの発生を促しましょう。
- ・中干し開始前に必ず溝切りしましょう。
- ・1m間の茎数が100本になったら速やかに中干しを開始しましょう。
- ・種子塗抹処理のFS剤を施用していない場合はいもち病や紋枯病防除として6月20日までにオリブライト（1キロ粒剤または250G）を必ず散布しましょう。

雑草防除（移植・直播共通）

- ・雑草が残っている場合は、雑草の種類や大きさを確認し、遅れずに除草剤を散布しましょう。
※「営農とくらし」P54～61参照
- ・中干しや葉いもち防除時期と重なることから、水管理（湛水または落水）を考慮し、使用する除草剤を選定しましょう。

大豆

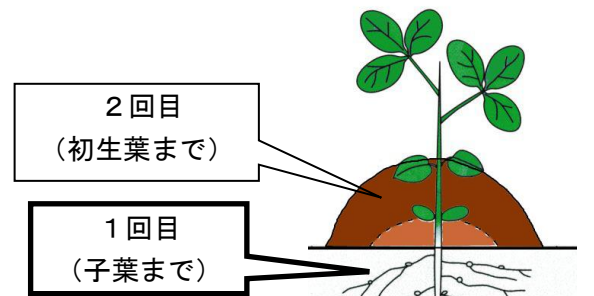
1 播種 ～種子が大きいので、播種機の調整を必ず行いましょう～

- ・ほ場の排水を良くするため、排水口は深く掘り下げ、排水溝は確実に連結しましょう。
- ・適切な栽植本数となるよう播種開始時に必ず種子の落下状況、播種深度（3cm程度）を確認しましょう。
- ・適切な播種量となっているか随時確認を行きましょう。
- ・除草剤は播種後、土が湿った状態で早めに散布しましょう。

播種時期	目標栽植本数		播種量 (10a当り)
	(10a当り)	(m当り)	
5月末～6月上旬	16,000本	13本	6.8kg
6月中旬	18,000本	14～15本	7.6kg

2 培土

1回目培土は本葉2～3葉期（播種後3週間頃）に行い、土は株元までしっかりと寄せましょう。



3 溝の手直し

培土後は、培土で出来た溝と額縁排水溝を連結させ、ほ場外へ速やかに排水させましょう。

4 雑草対策

難防除雑草「マルバルコウ（帰化アサガオ類）」をほ場で見つけたら、直ぐに抜き取るか除草剤（大豆バサグラン液剤）を散布してください。



播種後日数（本葉数）が進むと、大豆の株元にある雑草に薬剤がかかなくなるため、早めに散布しましょう（大豆2葉期以降）。

リアルタイムに情報をお伝えするため、電子メールによる情報提供を行っています。右のQRコードから登録画面に進めます。詳細はJA福光営農指導課までお問い合わせください。

JA福光メールマガジン登録QRコード

